

会議名称	平成23年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成24年(2012年)3月27日(火) 15時から16時33分まで
会場	大原公民館A会議室
委員数	15名
出席者 委員	10名 陶山 正明、伊藤 栄治、森谷 勉、松崎 勇、藤田 早苗、 江藤 博一、秋山 智、窪田 英彦、大崎和夫、椎野佳世子
出席者 事務局	4名 門田スポーツ課長、蓑島課長代理、市川主管、大沢田主任

1 門田スポーツ課長あいさつ

2 陶山会長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者10名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

3 議題

(1) 平成23年度社会体育関係事業の実施状況について

【事務局】 資料1に基づき説明

【委員】

今年度から市総体にニュースポーツの部を設けたが、実施してみてもスポーツ課の考えを聴かせてほしい。

【事務局】

トリムバレーボールについては、ほぼ全地区から参加をしていただいております、予想通りの参加人数であった。また、パークゴルフについては表彰の段取りなど反省点もあったので、次回に活かしていきたい。バウンドテニスについては、予想より参加人数が少なかった。24年度については、参加者が増えるように周知の方法を見直していきたい。

【会長】

参加の呼びかけを徹底すれば、より参加者が増えると思われるので、スポーツ課に検討をお願いしたい。

(2) 平成24年度スポーツ課予算について

【事務局】 資料2に基づき説明

【委員】

体育施設管理事業の施設修繕料が減額となっているとのことだったが、その要因を教えてください。

【事務局】

23年度は大きな修繕として桃浜町庭球場の雨漏り修繕があった。その修繕が終わったため、減額となっている。

【委員】

土沢スポーツ広場管理運営事業に関連してお聞きするが、土沢野球場の利用状況はどのようになっているのか。

【事務局】

土・日・祝日については、ほぼ全ての時間帯で利用があるが、平日の利用は少ない。

【会長】

歳入の「使用料及び手数料」の分が大きく減額となっている理由をお聞きしたい。

【事務局】

予算を要求する段階では、パークゴルフ場の利用料金について65歳以上の方の利用料を200円とする話は無かったため、利用実績を基に算出した。そのため、今回の利用料値下げに伴う利用者増等は考慮されておらず、この金額となっている。

【委員】

学校開放事業についてお聞きするが、団体からなかなか学校開放の利用枠を押さえることができないと話を聞いている。うまく調整できないか。

【事務局】

各学校に設けられている学校開放運営委員会で運営を行っているので、そちらに一度御相談いただきたい。

(3) スポーツ推進計画について

【事務局】 資料3に基づき説明

【委員】

計画の中に市総体の運営方法等について見直すことになるのであろうが、他市の状況がどのようになっているのかを改めて調査していただきたい。それを踏まえて見直しを行う必要がある。市総体は競技力の向上などの面で大きな役割を果たしている。また、継続するにしても選手権方式では他の競技団体が行っている他の大会と変わらないものになってしまうので、その点を考えていただきたい。

【委員】

以前審議会から出した提言書では市民の皆さんにもっと市総体に関心を持っていたといた点を中心に作成した。

【会長】

競技性のみではなく市民の皆さんに運動を親しんでいただくといった点も考慮して前回は提言をしている。

【委員】

前回の提言書を読んだが、従来の市総体が大きく変わらなっていた。
しかし、現在の市総体には提言が活かされていないと思う。
せっかく提言をしているのだから、その提言を踏まえ大会を見直していく必要があるのでは。そうでなければ、前回の提言は全く意味が無いものになってしまうと思う。

【会長】

予算の問題もあると思うが、スポーツ基本法の理念を踏まえ、市総体について前向きに検討していただくことはできないか。

【事務局】

市総体を継続する場合でも、こういった形で実施するのかを検討している段階であ

る。

提言をいただいているが、やはり市総体の実施には予算が大きく絡んでくる。

また、残念ながら現状では再来年度以降予算が減ってしまう可能性がある。

市総体の運営方法等について、仮に予算が減った場合、どのように継続し、どのような形で行うか頭を悩ませている。

現在、各市のデータを集めている。それを参考にスポーツ推進計画案を策定し、市総体の運営方法を含め、みなさんに御審議いただきたいと思う。

【会長】

スポーツ行政の推進について、スポーツ課単独では難しい部分もあるため、市役所内で連携をしっかりと行っていただく必要があると思う。

【委員】

大学の体育学部がスポーツの推進に協力できることもあるので、必要であればお声かけいただきたい。

【委員】

スポーツは子供達に希望と夢を与える。それを予算が無いとってその機会を奪ってしまうのは残念。

【事務局】

人気があるスポーツに偏りがみられるが、他の国では、1つの種目にこだわらず1人が色々なスポーツを行っている。様々なスポーツに親しむことができる環境づくりをしていく形でのスポーツ推進をすることも考えている。

そのためには、市総体の見直しだけでなく、他のスポーツ大会についても今後実施方法等を検討していく必要があると思う。

【委員】

平塚市単独ではなく、近隣自治体を巻き込んだ市総体の開催はできないのか。

近隣自治体を含めた方が競技人口も増え、より大会が盛り上がるのでは。

【事務局】

近隣自治体を含めるためには、色々な調整が必要となる。

【会長】

確かに中学校の大会でも市内の大会があり、中地区の大会があり、県の大会がある。

ただ、市総体については市として大会に核となるものを持っていないと、広域化は厳しいのでは。

【事務局】

健康フェスティバルのようにお祭りのものをやるのであれば、広域化も可能だと思う。

【会長】

競技スポーツと生涯スポーツのバランスを取る難しさはあると思う。
推進計画の資料が審議会に提示されるのはいつごろか。

【事務局】

今のところは未定であるが、できるだけ早く提示したい。

【委員】

お正月のニューイヤー駅伝は群馬県を上げて盛大に行われている。平塚市でも街を挙げて行うようなものが出来るといいと思う。

(4) その他

委員の改選及び市民公募の状況について事務局より説明

市民公募により選出された大崎委員、椎野委員よりあいさつ

4 閉会